

優 秀

## 知る・理解すること

旭中学校 1年

山下 やました

小袖妃 こゆき

みなさんはマタニティマークというものを知っていますか？マタニティマークは、簡単に言えば「妊婦と知らせるためのマーク」です。このマークは、二〇〇六年に市役所などで「妊婦さんに優しく出来るような社会にしよう」という目的で配布が始まりました。ですが、配布開始から十年以上が経っているにも関わらず、未だに社会に浸透していません。私はマタニティマークとはどんなものを調べてみたいと思います、母に聞くなどして調べてみました。

この「マタニティマーク」は、先述したように、妊婦さんに優しくするために作られたものです。実際にマタニティマークを付けている人は、七割以上の人が「周りの人々が優しい」と感じたそうです。逆に、マタニティマークを付けている人を見た人は、六割以上の人が「サポートしたいな」と思ったそうです。ですが、人間誰しも同じ考えは持たないので、不快に思う人も必ずいるわけで、「私は幸せなんですー」と言っているように感じる「席を譲れと強要されている気がする」など、マタニティマークを良くないと思っている人が少なからずいます。このように思う人から妊婦さんは、舌打ちをされたり、文句を言われたり、お腹を叩かれるということもあるそうです。これは、十人に一人が経験している事なので、他人事ではありません。

何故そのようなことが起こるのか。それは、妊娠をした人、している人と、していない人で大きな食い違いがあるからです。どういう事かと言うと、妊娠をしていない人は「マタニティマークを付けるの

は公共の場などでサポートしてもらおう為「妊婦だとアピールするため」だと八割以上の人が思っています。逆に、妊娠をした、している人は「緊急時に妊婦だと知らせる為」困っている時サポートして欲しいから」が八割近くの考え方です。つまり、妊婦さんは日頃から電車の席を譲れとか、重い荷物を持たせとか、そんなことを思っている訳ではないのです。確かに、気分が悪い時や出産が近いと「席、譲ってくださいませんか。」とは言いかねません。]どうして？」としますよね。けれど、それはお腹の子を守りたいからです。自分が倒れてしまったら、お腹の子もどうなるかは分かりません。実際に席に座れなくて、倒れてしまってお腹の子が死んでしまった、というパターンもあったのです。ただ、私の母が妊娠していた時、座っていた電車の席の前でわざとらしくマタニティマークを見せ、「席を譲れ」と圧をかけて座ろうとする妊婦さんがいたそうです。母はマタニティマークを持っていませんでした。その人の態度は悪く、同じ妊婦として悲しくなった、と話していました。とはいえ、この世の中、少子高齢化が進んでいて子供は未来の光とも言われている時代です。お母さん達だって沢山の不安を抱えているはず。妊婦さんを見たら、サポートを自分の出来る限りしてあげて下さい。

けれど、妊婦さんを手伝おうとすると「大丈夫です」と言われたことはありませんか？せっかく助けてあげようと思ったのに、と思えますよね。ですが、それは酷い勘違いです。妊婦さんは一人で出来ることだって沢山あります。お腹の子の為に、お母さんだって成長しようとしているのです。ですから、まずは一度「手伝えることはありませんか？」と聞いてみて下さい。一人で出来ないことくらい、自分で分かります。大丈夫だったら大丈夫。見守ってあげて下さい。手伝って欲しいと頼まれたら、優しく手伝ってあげて下さい。

このように、マタニティマークは妊婦さんにとって大切なものです。

決して妊婦さんは幸せだ、とアピールするためではなく、席に座りたいからではなく、お腹の子を守るために、マタニティマークを付けているのです。マタニティマークはお母さんの自己満足の為には付けていないので、マタニティマークを知って、理解して欲しいです。

私は、マタニティマークを知ってお母さんって子供が産まれる前も産んだ後も大変なんだなあと思いました。

